

# 第10回 荒尾マジック釣り大会

開催日時 **7月20日(土)**  
予備日 7月21日(日)

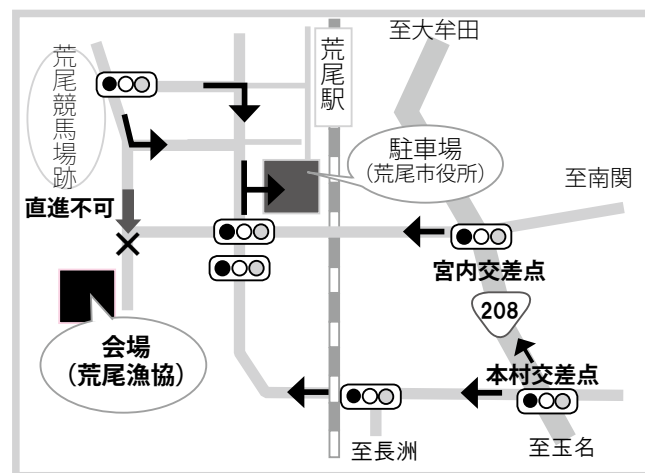
受付 10:00～ ※天候などの事情で予備日(21日)に実施する場合は、干潮時間の都合で左の日程より全て1時間遅れ(受付は11:00～)で実施します。  
開会式 10:45～ ※21日が参議院選挙執行の場合は中止します。  
マジック釣り 11:00～13:30  
20日 干潮 12:47  
21日 干潮 13:49



- ◆集合場所 荒尾漁協
- ◆駐車場 荒尾市役所(会場まで徒歩約10分)
- ◆参加料 1人500円(当日お支払いください)ただし、小学生未満は無料。有料参加者には参加賞があります。
- 参加資格 健康に自信のある人ならどなたでも。ただし、小学生以下は保護者同伴をお願いします。
- 申込方法 封書、はがき、ファクス、メールのどれかで申し込んでください。市ホームページからも申し込みできます。
- 申込期間 6月10日(月)～7月12日(金) ※小雨決行(大雨の場合は中止。また、釣り中でも雷が予想される場合は中止します)当日判断がつかない場合は、荒尾漁協(☎62-0023)にお問い合わせください。

【主催・申・問】  
荒尾マジック釣り大会実行委員会事務局  
農林水産課 ☎63-1454 FAX63-1158  
〒864-8686 荒尾市宮内出目390番地  
市ホームページ <http://www.city.arao.lg.jp/>  
メールアドレス koutai@city.arao.lg.jp

- ◆持ってくるもの
- ◆マジック釣用の筆 1人3～5本程度。使い古しの書道用大筆でOK。 ※筆を持っていない人には、当日受付で販売します(1本150円)。事前の申し込みが必要です。
- ◆鍬(くわ) ※有料貸出有
- ◆水筒、長靴、タオル、帽子、雨具、マジックの入れ物(ザルなど)・水を汲み出す用具(ボールなど) ※腰掛用としてバケツなどを使うと便利です。



## マジック釣り大会参加申込書

記号	氏名(ふりがな)	年齢	性別	住所	電話番号
代表者			男・女		☎ - -
			男・女		筆購入本数 本
			男・女		
			男・女		貸し出し鍬(有料) 本
			男・女		

- ※1. 傷害保険加入のため正確に記入してください。  
・参加者の傷害などは、応急処置や主催者側の加入保険で対応し、その他の責任は負わないものとします。  
・参加者は、自己(未成年者は保護者)の責任で参加をお願いします。  
・熱中症などは対象外になるので、こまめな水分補給などを行うなど十分ご注意ください。
- 2. 記号欄は、小学生未満の人に○を記入してください。
- 3. マジック釣りの筆(1本150円)を購入する人は、本数を記入してください。
- 4. 貸し出し鍬は使用料(1本500円)をいただきます。数に限りがあるため先着順です。



# 特別会計・企業会計予算

## 特別会計

### 国民健康保険特別会計

83億7,389万円(前年比0.8%増)

単年度収支の赤字が長く続き、平成19年度～平成23年度は、基金6億7,600万円を取り崩して収支均衡を図りました。平成24年度以降、毎年度赤字が見込まれる状況です。本年度は特定健診の自己負担金を一部無料化するなどで健診受診率を向上させるとともに、より効果的な保険事業に取り組むことで、医療費の適正化に努めます。

### 介護保険特別会計

57億6,974万円(前年比6.5%増)

高齢化の進展に伴う要介護者認定数の増加により、保険給付費もさらに増加すると見込んでいます。介護保険制度の運営をより効果的に推進するために、介護給付の適正化に力を入れていきます。また、できる限り要介護状態にならず、健やかで自立した生活を送れるように、介護予防の充実に努めます。

### 後期高齢者医療特別会計

7億3,409万円(前年比0.8%増)

平成23年度の本市の一人当たりの医療費は、県下で6番目に高い状況で、医療費適正化は大きな課題です。本制度の在り方については、国の社会保障制度改革国民会議で検討中であり、国民会議の動向を注視しながら、今後も高齢者が安心して医療を適切に受けられるよう、円滑な運営を図ります。

### 公共下水道事業特別会計

17億6,980万円(前年比30%減)

現状では累積赤字を抱えた経営状況ですが、単年度では黒字が続いていて、毎年度、累積赤字は縮小されています。また、処理人口普及率は、平成23年度末で66.4%です。平成25年度は、有明、倉懸、緑ヶ丘地域を中心に管渠布設工事の面整備を予定しています。

## 企業会計

### 水道事業

収益的収支予算  
総収益 8億3,499万円  
総費用 8億2,433万円  
利益 1,066万円

平成25年度は、長年の課題である「水道一元化」を進める大切な1年になると考え、進展に向けて取り組みを強化していきます。

収益的収支は、市民の節水意識の向上などで収入の伸びが見込めない中、支出は、昨年に給水を開始した「ありあけ浄水場」の維持管理費などが増加したものの、さらなる経費の見直しを行いました。

### 病院事業

収益的収支予算  
総収益 60億3,687万円  
総費用 55億7,619万円  
利益 4億6,068万円

「中期経営計画」に基づいた事業の実践と、「あり方検討会」の提言書を念頭に、質の高い医療を提供します。医師確保は引き続き大学医局などと積極的な連携を図るほか、医学生と看護学生の奨学金制度を継続します。経営面では、平成25年度が診療報酬改定がないため、効率的な収益対策を図っていきます。医療体制は、新たな装置の導入・更新で正確で迅速な治療や検査につなげます。

※1万円未満は切り捨てています。